

主要事務事業戦略シート

令和2年度
人事委員会事務局
事務局長 香取 徹哉

局・区の使命	公平公正な人事行政を推進するため、人事行政に係る専門的、中立的な第三者機関として、将来の千葉市を支える有能・有為な人材の確保に取り組むとともに、給与・勤務時間その他勤務条件に関する調査・研究を実施し、その成果を議会及び市長に報告及び勧告します。
事業選択・重点化・見直しの考え方	効果的な広報活動を行うとともに、実情に即し、なおかつ厳正な試験を実施することで、多様で有為な人材の確保に取り組む。

施策			9-9-9		その他								
No.	新規	事務事業(業務)名	事務事業(業務)概要		現状分析			課題抽出		今後の方向性		所管課	
			目標(目的) 【(事務事業(業務)を行い)誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】	主な内容 【サービス等の提供内容や提供先】	事務事業(業務)に必要な行政資源		コスト換算 (単位:百万円)	行政コストの合計額 (単位:百万円)	主な実績・効果 【利用者数・件数等】	分析・評価 【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】	改善・改革の手法		今後の方向性
1		職員採用活動	将来の千葉市を支える有能・有為な人材の確保に取り組む。	【対象】 新卒者及び千葉市への就職を検討する者 【主な内容】 ・多様で有為な人材の確保に向け、市内外を問わず、千葉市で働くことの魅力や千葉市の試験概要を広報する。 ・公平公正な試験・選考を執り行う。	ヒト	職員7.6人 (正規7.0人、非常勤0.6人)	25	37	平成29年度 受験者数:2,316人 競争倍率:8.8倍 平成30年度 受験者数:2,047人 競争倍率:6.6倍 平成31年度 受験者数:2,139人 競争倍率:5.5倍	新型コロナウイルス感染症の影響により景気の不透明感が広がる中で、公務員志望者の増加が見込まれる。 一方、若年労働力の不足が深刻化しており、各自治体とも広報活動や試験制度を工夫し、自治体間で人材獲得競争が過熱している。 限られた予算・人員の中で、試験の執行を確実に行うと同時に広報活動にも更に注力する必要がある、業務量の増加と予算不足が懸念される。	⑤ 連携・協働	・県内高校へのキャリア教育実施 ・他自治体や大学・予備校との連携強化 ・庁内他部署、リクルート大使との連携強化	人事委員会事務局
					モノ			<参考> 前年度決算額			⑥ ICT活用	・Twitterによる情報発信 ・就職サイトの活用 ・リクルート大使と連携したPR動画の自主制作の検討	
					カネ	歳出予算額12百万円 (うち一般財源12百万円) 【主なもの】 委託料 5百万円 印刷製本費 2百万円	12	歳出決算額10百万円 (うち一般財源10百万円)			⑧ その他	・試験科目や内容、評価基準等の見直しにより、受験者の能力や適性を的確に評価し、有能・有為な人材の確保を図る。	